

み 観て楽しむ



森では、いろいろな生物が生活しています。その一つ一つに注目して、どんな生活をしているのかを観察したり、想像したり、興味をもったら詳しく調べてみたり、楽しみは広がります。

私たちが観察し感動した事柄の一部を紹介します。あなたの目で観察して、あなたの感動を見つけましょう。

植物を観察しよう

植物のライフ・スタイル

一つの植物も、花芽→つぼみ→花→果実と姿を変えていきます。一つの植物が次の子孫を産み落とすまでの七変化を追いかけてみましょう。(この記録は、同一個体の観察ではありません)

クサギ(臭木) ⇒ ①100



つぼみ 2012.7.23 e



花 2015.8.2 e



果実 2010.11.9 e



がくの中に若い果実 2015.8.12 e

ポタンヅル(牡丹蔓) ⇒①92



花 2009.8.2 e



緑色の若い果実 2006.9.1 e



2009.12.9 e



熟し始めた果実 2013.8.20 e



2013.11.14 e

冬の枯れ野に咲く花のようなタネは
なかなか落ちずに、綿毛が残ります。
タネは何を待っているのでしょうかね。

キツネノカミソリ(狐の剃刀) ⇒①101

樹々の芽吹き前、葉を出し日光を独り占め。栄養を蓄えて一旦消えるのです。夏に花柄が伸び花を咲かせます。



葉 2011.4.11 e



葉は溶けて消える 2011.6.7 e



果実ができる 2011.9.13 e



花が咲く 2011.8.17e

ミドリヒメザゼンソウ(緑姫座禅草) ⇒83

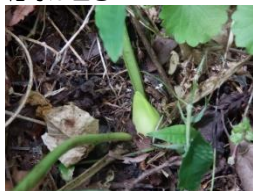
果実が熟するのに2年かかる植物もあります。

葉が出る



2013.5.8 e

花芽が出る



2013.7.16 e

結実、そして芽



2013.9.17 e

開花



2013.7.19 e



芽から葉が出る



2014.4.12 e

花芽が出る



2014.7.12 e



二年分の果実



2014.8.13 e

昨年の果実

開花



2014.7.21 e

今年の果実

↑この写真を撮った後、昨年の果実が行方不明になりました。

熟した方がなくなったということは、食べ頃を感知した何者かが持ち帰り食べたということ？

アカマツ(赤松) ⇒ ①116

よく見かけるアカマツも、2年かかって子孫(タネ)を作ります。

雌花



2011.6.7 e

そして、タネは風に乗って新天地へ。

雄花



2011.6.7 e

マツボックリは乾燥すると開き、湿ると閉じるを繰り返して、時期を待ちます。

昨年受粉した果実



2011.6.7 e

そして翌年結実



2010.11.9 e



2016.3.29 e



2010.11.9 e



つる性の植物

森には、自分では自立せず、他の植物に自分の身体を支えてもらう生き方をしている植物もいます。

右写真のフジは特定な器官を持たず若い茎が近くの木に沿って登ってきます。



フジ

他にも、

巻き鬚^{ひげ}をだして絡む^{から}、刺^{とげ}・鉤^{カギ}で引っ掛ける、

吸盤^{ヒューン}を出して張り付く、茎から根^根を出して張り付く、方法はさまざま。

巻きつかれた植物も災難です。締め付けられたり、覆われて光を奪われ、枯れてしまうもの

もあります。

森林整備では、

つるを切る作業も

大事な作業になります。



ヤマガシユウの棘



ヤマガシユウの巻き鬚



ツルマサキの根



ツタの吸盤